

第1号議案

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1. 会議の開催

(1) 総会 令和元年5月24日(金) 鈴鹿高専 事務・教養棟2階 会議室B

総会出席者：54名、懇親会参加者：32名

1) 議事

- ① 第1号議案 平成30年度事業報告について
- ② 第2号議案 平成30年度収支決算報告
について
監査報告
- ③ 第3号議案 令和元年度事業計画(案)
について
- ④ 第4号議案 令和元年度収支予算(案)
について



板谷准教授講演

2) 基調講演：「企業における防災、減災について」

(三重県・三重大学 みえ防災・減災センター 企業防災アドバイザー 川合 一明 氏)

3) 産学連携アラカルト：

「産学官協働研究室の設置とそれを活用した工学教育」

(鈴鹿高専 電気電子工学科 横山 春喜 教授(研究主事))

4) 会員企業との共同研究紹介：

「カーボンナノチューブを使用した複合材料の機能・特性評価」

(鈴鹿高専 機械工学科 民秋 実 教授)

「ロボットを活用して地域の課題解決を目指す実践的技術者育成教育
～塗膜耐久試験片搬送ロボットの開発～」

(鈴鹿高専 電子情報工学科 板谷 年也 准教授)

(2) 理事会

1) 第1回理事会 平成31年4月22日(月) 15:00～ 事務・教養棟2階 会議室B 出席者19名

- ① 令和元年度 通常総会議案書(案)について
- ② 年度毎の事業経費の推移(設立時～平成30年度)について
- ③ 鈴鹿高専からの依頼事項(知的人財バンク事業、終身個人会費の設定等)について
- ④ 年間活動日程について

2) 第2回理事会 令和元年10月17日(木) 事務・教養棟2階 会議室B 出席者22名

- ① 今年度の会員動向について(令和元年 5 月総会以降)
- ② 共同研究、受託研究、技術相談の支援について
- ③ 今年度のこれまでの主な事業の実施報告(テクノプラザ独自の事業、鈴鹿高専の事業との連携)について
- ④ 今後の事業の実施について[企業ガイドブック 2019 の作成、高専祭企業展示、高専祭学科展示作品の審査とテクノプラザ賞の表彰、合同業界説明会、企業交流会など]
- ⑤ 鈴鹿高専からの依頼事項について
- ⑥ 会員増強について(当面 150 社、最終 300 社を目指す。)
- ⑦ 個人会員の増員(卒業生、名誉教授、理事等から積極的な入会を求む(終身会費 3 万円)。)
- ⑧ テクノプラザとしての職業紹介への対応および OB 人材の知識・経験の有効活用
- ⑨ 事務局体制変更について

2. 事業の実施

(1) 会員企業との共同研究等による研究協力の推進

1) 共同研究・受託研究への支援

共同研究 3 件を支援した。(助成総額 526,000 円)。

〔支援内容：会員企業からの共同/受託研究費(間接経費 10%を含めた研究費)の 20%を、担当の高専教職員に寄附金として助成する。但し、1 件 20 万円を上限とする。〕

2) 会員企業の技術相談に関する助成

会員企業からの技術相談は、延べ 7 件であった。(全て 1 回のみの技術相談)

年間を通して 2 回に及ぶ今年度の相談は 0 件であり、助成はなかった。

〔支援内容：同様な内容の技術相談が 1 年以内に 2 回以上に及ぶ会員企業からの相談料は、2 回目以降も無料とし、相談担当の高専教職員に寄付金として助成する。〕

(2) 産学官の人的、情報交流の促進

企業交流会 令和元年 11 月 18 日(月) 14:00～17:00 鈴鹿高専 事務・教養棟 2 階 会議室 B

参加者：40 名

1) 鈴鹿高専教員の研究に関わる話題提供

「食塩だけではダメなのか？カニの生存に対する海水中のイオンの役割」

山口 雅裕 准教授(鈴鹿高専 生物応用化学科)

2) 会員企業紹介

「株式会社ロンビックの受託分析・試験技術のご紹介」

内田 人志 氏(株式会社ロンビック 樹脂検査分析センター営業部 主任)

3) 招待講演

【演題】 「消費財における技術革新への挑戦」

～人と技術のふれあいによる「創造のよろこび」～

【講師】 ライオン株式会社 特命顧問 角井 寿雄 氏

4) 高専祭 学科展示優秀作品の紹介

終了後、懇親会を開催 青峰会館 参加者 32 名



角井特命顧問による招待講演



学科展示優秀作品の紹介

(3) 会員企業の技術向上に関する支援

1) 企業技術者対象の講習会

- ・開催日：令和元年 9 月 3 日(火) 13:00～17:00
- ・場 所：鈴鹿高専 機械工学科棟 2 階
モノづくり工房
- ・テーマ名：「ラズパイとマイコンで試すお手軽 IoT」
- ・講師： 鈴鹿高専
機械工学科 打田 正樹 准教授
電子情報工学科 板谷 年也 准教授
電気電子工学科 橋本 良介 助教
- ・参加者： 5 社から 6 名



企業技術者実習風景

2) 会員企業見学会の実施

開催日：令和元年 9 月 11 日(水) 午後
見学先：伊勢角屋麦酒 下野工場
参加者：18 名



伊勢角屋麦酒 下野工場にて

3) 鈴鹿高専教員の企業訪問による『出前講座』の実施

本年度は、会員企業からの実施要請はなかった。

平成 29 年度より夏季休業中に加え、春季休業中にも実施することとしている。

なお、出前講座のメニューは、継続してホームページに掲載している。

4) 講演会の開催

平成 30 年度教育研究経費(校長裁量経費)実施報告会 [5 月 17(金)]

SUZUKA 産学官交流会・設立 20 周年記念式典フォーラム [2 月 20 日(木)]

講演『日本のものづくりの現状と今後』

～イノベーションと日本のものづくりが果たすべき役割～

国立科学博物館産業技術史資料情報センター長 鈴木 一義 氏

5) メールによる会員企業向けの情報提供

- ・ 航空業界 News [航空宇宙人材育成/新規参入支援 CD 川合勝義氏からの配信]
- ・ 「みえ産学官技術連携研究会総会および三重県工業研究所事業成果発表会」のご案内
- ・ (公財) 三重県産業支援センター「クラウド環境活用 I o T ワークショップ」のご案内
- ・ 「第 6 回 SUMS-NITS 医工連携研究会」のご案内
- ・ 「第 7 回 SUMS-NITS 医工連携研究会」のご案内
- ・ 三重サイバーセキュリティ・アイザック主催「サイバーセキュリティセミナー」のご案内
- ・ 三重県産業支援センター「化学・プロセス産業基礎講座」受講者募集
- ・ 「SUZUKA 産学官交流会・設立 20 周年記念式典フォーラム」のご案内

(4) 人財確保の支援、会員企業 PR

1) 「企業ガイドブック 2019」の作成と就職希望学生への配布

- ・ 令和元年 10 月 21 日(月)完成
- ・ 企業会員 108 社分を掲載し製本して、第 4 学年と専攻科 1 年次の就職希望学生に配布するとともに、鈴鹿高専教職員に配布して、会員企業を紹介した。(全 123 頁/部、300 冊)

2) 合同業界説明会での会員企業紹介

- ・ 令和元年 10 月 30 日(水)
- ・ 会員企業 62 社が参加して、第 4 学年と専攻科 1 年次の学生及びその保護者、第 3 学年の参加希望学生を対象に開催した。
- ・ 実施内容：体育館にて企業ごとにブースを設定し、20 分毎に学生入替制により業界説明や企業紹介の個別説明会を行った。



企業ガイドブック 2019 の発行



合同業界説明会の風景(第 1 体育館)

高専祭での会員企業展示〔11月9日(土)、10日(日)〕

- ・企業会員 108 社の企業ガイドブック原稿拡大版または企業会員 HP に掲載されている業務内容を付した要約版を A2 サイズで衝立にて紹介した。
- ・鈴鹿高専テクノプラザ事業紹介パンフレット等を卓上にて自由配付した。
- ・来客者数は、昨年度同様、2 日間で 950 名程度であった。



高専祭での企業展示(第2体育館)

3) 鈴鹿市ものづくり企業交流会での活動紹介

- ・令和2年1月19日(日) 於：鈴鹿ハンター
- ・テクノプラザ事業内容の紹介、会員企業の紹介、研究に関わる協働事業の実施例の紹介など、パネル展示による PR を行った。

6) 銘板の増設

- ・会員企業数の増加に伴い、会員名を記載した壁面設置型銘板が手狭となったため、昨年度に 1 面を増設した。今後、個人会員の増強を図り、増設した銘板が空白とにならないように運営していきたい。
- ・鈴鹿高専を支援頂く企業会員、特別会員、個人会員を本校の教職員や学生に紹介するとともに、来校者に PR し入会の勧誘を図ることとする。



テクノプラザ企業会員等の銘板

(5) 高専の教育、国際交流の充実および学生との交流の促進

1) 高専の技術者教育

① Dana M. Barry 教授(Clarkson University, U.S.A) 学生向け特別講演会〔6月17日(月)〕

- ・講演題目：「Life in Northern New York State & Its Universities」
「ニューヨーク州北部の生活と大学」

② Noorani教授(Loyola Marymount University) 学生向け特別講演会〔10月29日(火)〕

- ・講演題目：「The Role of Universities in Promoting Entrepreneurship and Small Business」
「アントレプレナーシップと小規模ビジネスにおける大学の役割」



Dana M. Barry 教授特別講演



Noorani 教授特別講演

2) 高専祭学科展示作品の審査と優秀作品の表彰〔11月9日(土)、10日(日)〕

第4学年の創造工学の授業で創作した作品の中から、創造工学活動に努力して取り組み、創意工夫して観客を魅了する優れた作品を選び、表彰するとともに副賞を授与した。

3) 知財教育への支援

学内パテントコンテストや全国パテントコンテストの試作品を学生が製作するための費用を支援した。

4) 学生海外派遣支援

海外インターシップ 11/13(水)～11/15(金)

三重金属工業株式会社(本社：津市)ベトナム生産法人 VIETNAM MIE CO. LTD

2名支援(50,000円×2名=100,000円)

5) 教員業務負担削減支援

鈴鹿高専の教育体制整備における教員の負担軽減に寄与するべく、非常勤講師の雇用(1名)に関する支援を行った。

6) 学寮業務負担軽減調査費

鈴鹿高専学寮業務における学寮点呼、帰省願い等を電子化とすべく、他高専の状況を把握するための調査費用を支援した。

3. 会員企業への就職学生数について

- ・平成25年度：会員企業7社に11名

(機械工学科：2名、電子情報工学科：2名、生物応用化学科：3名、材料工学科：4名)

- ・平成26年度：会員企業6社に7名

(電気電子工学科：1名、生物応用化学科：2名、材料工学科：4名)

- ・平成27年度：会員企業4社に10名

(機械工学科：1名、電気電子工学科：2名、生物応用化学科：3名、材料工学科：3名、電子機械工学専攻：1名)

- ・平成28年度：会員企業9社に17名

(機械工学科：4名、電気電子工学科：2名、電子情報工学科：1名、生物応用化学科：2名、材料工学科：8名)

- ・平成29年度：会員企業9社に15名

(機械工学科：5名、電気電子工学科：2名、電子情報工学科：0名、生物応用化学科：4名、材料工学科：4名)

- ・平成30年度：会員企業10社に14名

(機械工学科：3名、電気電子工学科：0名、電子情報工学科：0名、生物応用化学科：7名、材料工学科：3名、応用物質工学専攻：1名)

- ・令和元年度：会員企業16社に18名

(機械工学科：0名、電気電子工学科：2名、電子情報工学科：1名、生物応用化学科：5名、材料工学科：7名、応用物質工学専攻：3名)

4. 会員数の推移について

	企業会員	個人会員	特別会員	退会企業
平成 25 年 設立総会(3 月)	27 社	2 名	2 団体	—
平成 26 年度 総会(5 月末)	47	4	8	8
平成 27 年度 総会(5 月末)	50	4	9	1
平成 28 年度 総会(5 月末)	58	6	10	3
平成 29 年度 総会(5 月中旬)	63	6	11	1
平成 30 年度 総会(5 月末)	94	9	12	1
令和元年度 総会(4 月末)	116	15	12	3
令和 2 年度 総会(4 月末)	128	18	13	6